

Electret Condenser Microphone

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d’emploi
Bedienungsanleitung
Istruzioni per l’uso
Manual de instrucciones
使用说明书

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告	電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身事故になることがあります。
------------	--

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ECM-322BC ECM-322BMP

Sony Corporation © 2006 Printed in Korea

安全のために

ソニー製品は安全に充分に配慮して設計されています。しかし、製品は、まちがった使いかたをすると、けがにつながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 「**安全のために**」の注意事項を守る。
- 長期間安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。**
- 故障したら必ず、お買い上げ店にご相談ください。**

警告表示の意味	注意を促す記号
この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。	⚠ 注意
⚠注意	行為を禁止する記号
この表示の注意事項を守らないと、 火災 やその他の事故により けが をしたり周辺の物品に 損害 を与えたりすることがあります。	🚫 分解禁止 🚫 禁止
	行為を指示する記号
	! 指示

⚠注意	下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。
------------	---

集音以外の目的に使用しない

- 🚫 禁止

集音以外の目的でご使用になりますと、思わぬ事故、火災やけがの原因となることがあります。

使用時は周囲の状況に注意をほらう

- ⚠ 注意

周囲の状況を把握しないままご使用になりますと、事故やけがなどの原因となります。

ヘッドバンド装着時、目に入らないように注意する

- ⚠ 注意

ヘッドバンドを装着するとき、目に入らないよう注意してください。

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しない

- 🚫 禁止

上記のような場所やこの取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

運搬時には、マイクロホンケーブルを取り外す

- ! 指示

本機を運搬する際には、マイクロホンケーブルを必ず取り外してください。マイクロホンケーブルに引っ掛かると、転倒や落下の原因となることがあります。

長時間使用しないときは、イヤークリップを耳から外しておく

- ! 指示

長時間使用しないときは、本機のイヤークリップを耳から外しておいてください。

分解や改造をしない

- 🚫 分解禁止

分解や改造をすると、火災やけがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

- 🚫 禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入った場合は、すぐにマイクロホンケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

日本語
お買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

概要

ECM-322BC/322BMPは、ソニーUHFワイヤレスマイクロホンシステムのトランスミッターと組み合わせてイベントやセミナーなどでハンズフリーで使用できる、ヘッドセット式の全指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホンです。

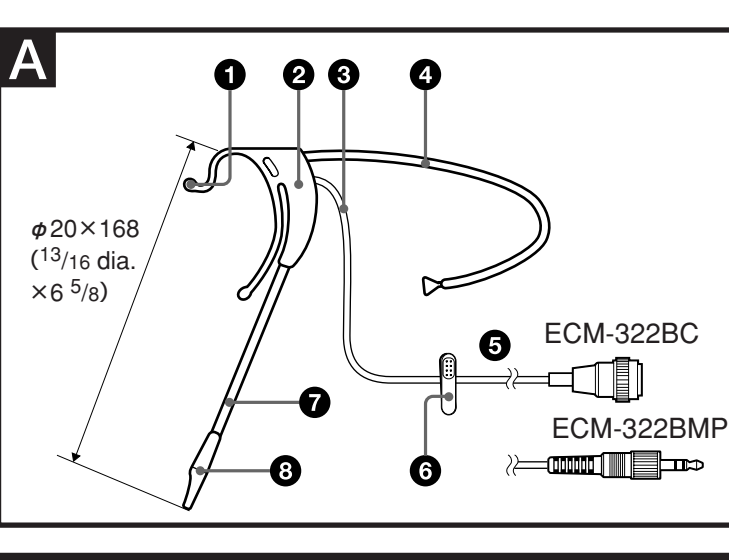
ECM-322BC：WRT-822など、SMC9-4Sソケット付きトランスミッターと組み合わせて使用できます。

ECM-322BMP：UWPシリーズのUTX-B1ボディパックトランスミッターなど、3極ミニジャック付きトランスミッター専用品です。

- 本機の特長は、以下の通りです。
 - 感度や音質を損なわない集音を可能とする全指向性型カプセルを採用。
 - 左右どちらの耳にも簡単に装着できるイヤークリップを採用。シリコン材の採用と軽量化により、長時間の使用でも疲れにくい、心地よい装着感を実現。
- カプセルケースの位置・角度の微調整時に自由に曲げられるブームを採用。

お問い合わせは
「 ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 http://www.sony.net/



各部の名称(図A)

- | | |
|--|---------------------|
| ① イヤークリップ | ② ケース |
| ③ マイクロホンケーブル | ④ ヘッドバンド（付属） |
| ⑤ コネクター（ECM-322BC：SMC9-4Pプラグ / ECM-322BMP：ロック付きミニプラグ） | |
| ⑥ クリップ（付属） | ⑦ ブーム |
| ⑧ カプセルケース | |

装着する

左右どちらの耳にも掛けることができます。

装着のしかた (図B-a/b)

イヤークリップの上部を耳に掛けたあと、耳の形に沿わせるようにイヤークリップを押さえて整えてください(①)。最適な音質が得られるように、カプセルケースの溝のある側が内側を向くようにねじり(②)、カプセルケースが口の延長線上に位置する様に調整してください(③)。

- ヘッドバンドの取り付けかた (図B-c)**

本機をより確実にホールドしたい場合は、装着の前にヘッドバンド（付属）(①)を取り付けてお使いください。

左右どちらの向きにも取り付けられます。

- クリップの取り付けかた (図B-c)**

マイクロホンの脱落を防ぐため、マイクロホンにクリップ（付属）(②)を取り付け、着衣などに留め付けてお使いください。

トランスミッターの接続(図C)

ECM-322BC
コネクターの内側の溝をトランスミッターのマイク入力端子（SMC9-4S）の黄色い線に合わせ(①)、コネクターを押し込みながらリングを回す(②)。

ECM-322BMP
プラグを差し込み(①)、端子カバーを確実に締める(②)。

使用上のご注意

- マイクロホンは敏感です。落としたり、強いショックを与えたりしないようにしてください。
- 高温多湿、特に気温が60℃以上のところで長時間使用・保存することは避けてください。
- 使用中、「ピー」という音（ハウリング）が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまうために起こります。これを防ぐには、マイクロホンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。
- カプセルケースの位置を調整するためにブームを曲げるときには、ブームに角度がつくような折り曲げかたをしないでください。
- 使い終わったら、マイクロホンケーブルをトランスミッターから外してください。

仕様

定格	
形式	エレクトレットコンデンサー型
電源	DC 2～10 V（ソニーワイヤレストランスミッターなど外部から供給）
消費電流	1.3 mA以下（標準負荷回路による）
ケーブル	φ 2.0 mm、2芯シールド、長さ約1.2 m
コネクター	ECM-322BC：ソニー SMC9-4P型 <p>ECM-322BMP：3極小型（φ 3.5）単頭プラグ、ロック付き</p>
質量	約10g（コネクター除く）
外形寸法	図A参照。単位：mm（インチ）
付属品	ヘッドバンド(1)、クリップ(1)、キャリングケース(1)、取扱説明書(1)

性能
以下の項目は、標準負荷回路に接続して試験したものです。

周波数特性	50 Hz～18,000 Hz
指向特性	全指向性
出力インピーダンス	1.4 k Ω ±30%、不平衡型
正面感度	−42.0 dB (7.94 mV) ±3.0 dB (1 kHz/Pa)
固有雑音	34 dB SPL以下
許容動作温度	0℃～+60℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<p>お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。</p>

保証書とアフターサービス

保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

- アフターサービス**
 - 調子が悪いときは**

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
 - それでも具合の悪いときは**

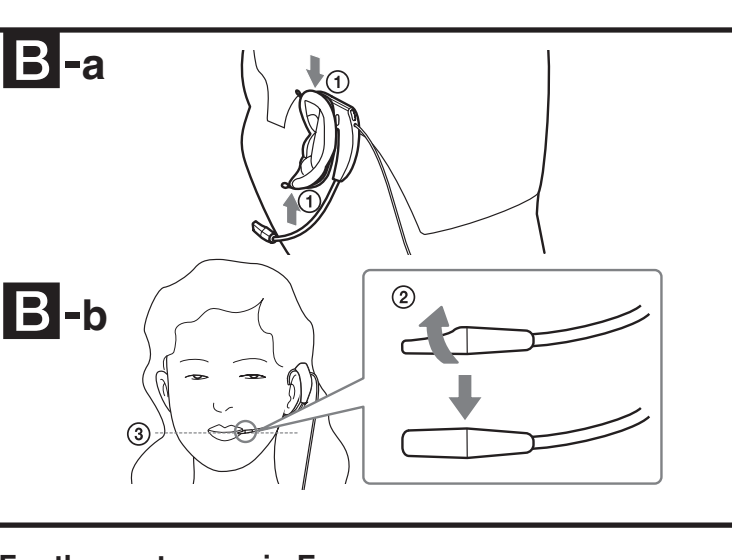
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
 - 保証期間中の修理は**

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
 - 保証期間経過後の修理は**

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

English

Before using the microphone, please read this manual thoroughly. This manual should be retained for future reference.



For the customers in Europe
This product with the CE marking complies with the EMC Directive (89/336/EEC) issued by the Commission of the European Community. Compliance with this directive implies conformity to the following European standards:

- EN55103-1: Electromagnetic Interference (Emission)
- EN55103-2: Electromagnetic Susceptibility (Immunity)

This product is intended for use in the following Electromagnetic Environment(s): E1 (residential), E2 (commercial and light industrial), E3 (urban outdoors), and E4 (controlled EMC environment, ex. TV studio).

Overview

The ECM-322BC/322BMP is a head-set type omni-directional electret condenser microphone for hands-free operation in an event, seminar, etc. in combination with a transmitter of the Sony UHF wireless microphone system.

ECM-322BC: Can be used with a transmitter with an SMC9-4S socket, such as the WRT-822.

ECM-322BMP: For exclusive use with a Sony transmitter with a 3-pole minijack, such as the UTX-B1 included in the UWP series Wireless Microphone Package.

- The features of the ECM-322BC/322BMP are as follows:
 - Omni-directional capsule to obtain sound with clarity and quality.
 - Ear clip to easily wear on either ear. With lightweight and compact design and silicone materials, it is particularly light and comfortable to ear even in use of long hours.
 - Flexible boom allows you to finely adjust the position and angle of the microphone.

Names and Functions of Parts (Fig. A)

- | | |
|--|------------------------------|
| ① Ear clip | ② Case |
| ③ Microphone cable | ④ Headband (supplied) |
| ⑤ Connector (SMC9-4P plug for the ECM-322BC/mini phono plug with a lock mechanism for the ECM-322BMP) | |
| ⑥ Clip (supplied) | ⑦ Boom |
| ⑧ Capsule case | |

Wearing the Microphone

The ECM-322BC/322BMP is designed to be worn on either ear.

- To wear the microphone (Fig. B-a/b)**

Hook the upper part of the ear clip on an ear, then press the ear clip gently along the ear to settle it in place(①).

To obtain proper sound quality, twist the boom so that the threads on the capsule case face toward the mouth, then pull the capsule case on the extensive line from the mouth(②).

- To attach the headband (Fig. B-c)**

To wear the microphone more securely, attach the supplied headband(①) before wearing the microphone.

The headband can be attached on either side.

- To attach the clip (Fig. B-c)**

To prevent the microphone from falling off, attach the supplied clip(②) to the microphone cable, then clip the microphone cable to the clothing.

Connecting to the Transmitter (Fig. C)

ECM-322BC
Align the inner slit of the microphone's connector with the yellow line of thee microphone input connector (SMC9-4S) of the transmitter(①), then push and rotate the ring(②).

ECM-322BMP
Insert the plug(①), then turn and lock the connector cover(②).

Notes on Use

- Microphones are delicate. Do not drop or subject it to excessive shock.
- Avoid extended usage or storage in high humidity or temperatures above 60°C (140°F).
- If acoustic feedback occurs during use (a howling sound is heard from the speakers), point the microphone away from the speakers or increase the distance between the microphone and the speakers.
- Do not bend the boom while adjusting the capsule case position.
- After use, be sure to disconnect the microphone cable from the transmitter.

Specifications

General	
Type	Electret condenser microphone
Power requirement	2 V DC to 10 V DC (supplied from the external device, such as a Sony wireless transmitter)
Current drain	1.3 mA or less (with the standard load circuit)
Cable	2.0 mm dia., 2-conductor shielded cable, 1.2 m (3.9 feet) long
Connector	ECM-322BC: Sony SMC9-4P <p>ECM-322BMP: 3-pole mini phono plug with a lock mechanism</p>
Mass	10 g (0.4 oz) (without connector)
Dimensions	See Fig. A. Unit: mm (inch)
Supplied accessories	Headband (1), clip (1), carrying case (1), Operating Instructions (1), warranty booklet (1)

Performance	
The following items were tested by connecting the microphones to the standard load circuits.	
Frequency range	50 Hz to 18,000 Hz
Directivity	Omni-directional
Output impedance	1.4 kΩ ±30%, unbalanced
Sensitivity	−42.0 dB SPL (7.94 mV) ±3.0 dB (1 kHz/Pa)
Inherent noise	34 dB SPL or less
Operating temperature	0 °C to +60 °C (32 °F to 140 °F)

Design and specifications are subject to change without notice.

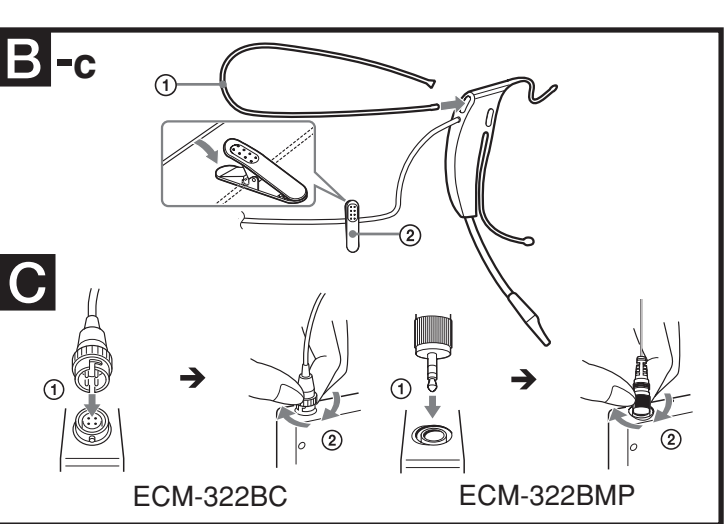
Note
Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Français

Avant d'utiliser ce microphone, lisez attentivement ce mode d'emploi à conserver pour toute référence ultérieure.

Pour les clients européens

Ce produit portant la marque CE est conforme à la Directive sur la compatibilité électromagnétique (EMC) (89/336/CEE) émise par la Commission de la Communauté européenne.



La conformité à cette directive implique la conformité aux normes européennes suivantes:

- EN55103-1: Interférences électromagnétiques (émission)
- EN55103-2: Sensibilité électromagnétique (immunité)

Ce produit est prévu pour être utilisé dans les environnements électromagnétiques suivants: E1 (résidentiel), E2 (commercial et industrie légère), E3 (urban extérieur) et E4 (environnement EMC contrôlé, ex. studio de télévision).

Aperçu

Le ECM-322BC/322BMP est un microphone condensateur à électrets omnidirectionnel à écouteurs pour le fonctionnement mains libres lors d'un événement, séminaire etc. en combinaison avec un émetteur du système de microphone sans fil UHF Sony.

ECM-322BC: Utilisable avec un émetteur à douille SMC9-4S, comme le WRT-822.

ECM-322BMP: A utiliser exclusivement avec un émetteur Sony à miniprise 3 pôles, comme le UTX-B1 inclus dans l'ensemble de microphone sans fil de série UWP.

Les caractéristiques du ECM-322BC/322BMP sont comme suit:

- Capsule omnidirectionnelle pour obtenir un son net et de qualité.

- Pince d'oreille pour faciliter le port à une oreille ou l'autre. Léger et compact, en silicium, il est particulièrement agréable à porter même pendant de longues heures.
- La flèche flexible vous permet d'ajuster précisément la position et l'angle du microphone.

Nomenclature (Fig. A)

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ① Pince d'oreille | ② Boîte |
| ③ Câble de microphone | ④ Courroie de tête (fournie) |
| ⑤ Connecteur (fiche SMC9-4P pour le ECM-322BC/minifiche phono avec mécanisme de blocage pour le ECM-322BMP) | |
| ⑥ Pince (fournie) | ⑦ Flèche |
| ⑧ Boîte de capsule | |

Port du microphone

Le ECM-322BC/322BMP est conçu pour le port sur une oreille ou l'autre.

- Pour porter le microphone (Fig. B-a/b)**

Accrochez la partie supérieure de la pince d'oreille sur une oreille, puis appuyez doucement sur la pince et sur l'oreille pour la mettre en place(①).

Pour obtenir une qualité sonore convenable, courbez la flèche de sorte que les fils sur la boîte de capsule soient dirigés vers la bouche, puis tirez la boîte de capsule sur la ligne d'extension de la bouche(②).

- Pour attacher la courroie de tête (Fig. B-c)**

Pour un port plus sûr du microphone, fixez la courroie de tête(①) fournie avant de mettre le microphone en place.

La courroie de tête peut s'attacher sur un côté ou l'autre.

- Pour fixer la pince (Fig. B-c)**

Pour éviter que le microphone se détache, attachez la pince(②) fournie au câble du microphone, puis pincez le câble du microphone sur un vêtement.

Connexion à l'émetteur (Fig. C)

ECM-322BC
Alignez la fente interne du connecteur du microphone sur la ligne jaune du connecteur d'entrée de microphone (SMC9-4S) de l'émetteur(①), puis pressez et tournez la bague(②).

ECM-322BMP
Insérez la fiche(①), puis tournez et verrouillez le capuchon de connecteur(②).

Remarques sur l'emploi

- Le microphone est délicat. Ne le laissez pas tomber et ne le soumettez pas à des chocs violents.
- Évitez l'utilisation prolongée ou le rangement à un emplacement à forte humidité ou température au-dessus de 60 °C (140 °F).
- En cas de rétroaction acoustique pendant l'emploi (hurlement en provenance des haut-parleurs), pointez le microphone loin des haut-parleurs ou augmentez la distance entre le microphone et les haut-parleurs.
- Ne courbez pas la flèche pendant la mise en place de la boîte de capsule.
- Après l'emploi, déconnectez bien le câble de microphone de l'émetteur.

Spécifications

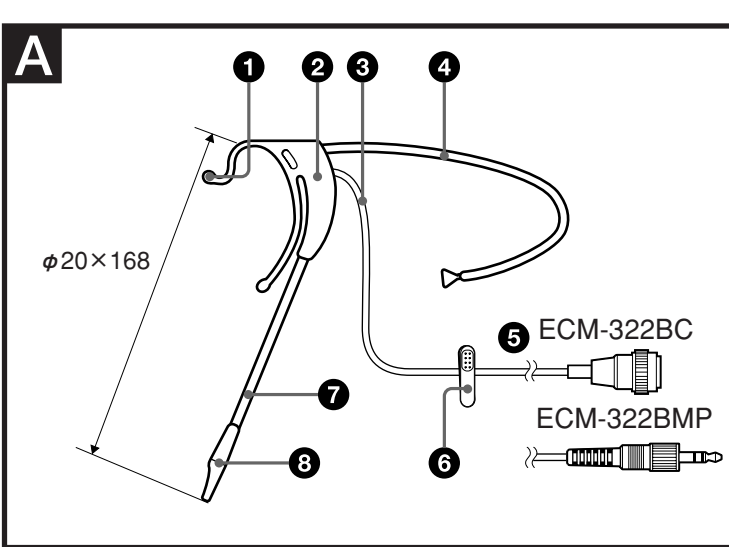
Généralités	
Type	Microphone condensateur à électrets
Alimentation	2 à 10 V CC (fournis par un dispositif extérieur, par ex. émetteur sans fil Sony)
Consommation de courant	1,3 mA ou moins (avec le circuit de charge standard)
Câble	Câble blindé 2 conducteurs, dia. 2,0 mm, 1,2 m (3,9 pieds) de long
Connecteur	ECM-322BC: Sony SMC9-4P <p>ECM-322BMP: minifiche phono 3 pôles avec mécanisme de blocage</p>
Poids	10 g (0,4 onces) (sans connecteur)
Dimensions	Voir la Fig. A. Unité: mm (pouce)
Accessoires fournis	Courroie de tête (1), pince (1), sac de transport (1), mode d'emploi (1), brochure de garantie (1)

Performance
Les éléments suivants ont été testés en connectant des microphones aux circuits de charge standard.

Gamme de fréquences	50 à 18.000 Hz
Directivité	Omnidirectionnel
Impédance de sortie	1,4 kΩ ±30%, asymétrique
Sensibilité	−42,0 dB SPL (7,94 mV) ±3,0 dB (1 kHz/Pa)
Bruit inhérent	34 dB SPL ou moins
Température de fonctionnement	0 à +60°C (32 à 140°F)

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Remarque
Vérifiez toujours que l'appareil fonctionne correctement avant l'utilisation. Sony n'assume pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu'ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu'elle soit.



Deutsch

Vor dem Betrieb des Mikrofons lesen Sie bitte diese Anleitung gründlich durch. Bewahren Sie die Anleitung zum Nachschlagen auf

Für Kunden in Europa

Dieses Produkt besitzt die CE-Kennzeichnung und erfüllt die EMV-Richtlinie (89/336/EWG) der EG-Kommission.

Angewandte Normen:

- EN55103-1: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störaussendung)
- EN55103-2: Elektromagnetische Verträglichkeit (Störfestigkeit), für die folgenden elektromagnetischen Umgebungen: E1 (Wohnbereich), E2 (kommerzieller und in beschränktem Maße industrieller Bereich), E3 (Stadtbereich im Freien) und E4 (kontrollierter EMV-Bereich, z.B. Fernsehstudio)

Überblick

Das ECM-322BC/322BMP ist ein Kopfhörertyp-Elektret-Kondensatormikrofon mit Kugelcharakteristik für freisprechenden Betrieb bei Events, Seminaren usw. in Kombination mit einem Sendeteil des Sony drahtlosen UHF-Mikrofonsystems.

ECM-322BC: Kann mit einem Sendeteil wie einer SMC9-4S Fassung, wie dem WRT-822, verwendet werden.

ECM-322BMP: Für ausschließliche Verwendung mit einem Sony-Sendeteil mit einer 3-poligen Minibuchse wie dem UTX-B1, das in der drahtlosen Mikrofonpackung der UWP-Serie enthalten ist.

- Der ECM-322BC/322BMP hat die folgenden Merkmale:
- Kugelcharakteristik-Kapsel, um Klang mit Klarheit und Qualität zu erhalten.
- Leicht auf jedem Ohr tragbarer Ohrclip. Mit leichtem und kompaktem Design und Silikonmaterialien ist es besonders leicht und komfortabel zu tragen, auch bei längerer Verwendung.
- Flexibler Galgen erlaubt es, die Position und den Winkel des Mikrofons fein einzustellen.

Bezeichnungen und Funktionen der Teile (Abb. A)

- | | |
|--|----------------------------------|
| 1 Ohrclip | 2 Gehäuse |
| 3 Mikrofonkabel | 4 Kopfband (mitgeliefert) |
| 5 Anschluss (SMC9-4P-Stecker für den ECM-322BC/Mini-Cinchstecker mit einem Sperrmechanismus für das ECM-322BMP) | |
| 6 Clip (mitgeliefert) | 7 Galgen |
| 8 Kapselgehäuse | |

Tragen des Mikrofons

Das ECM-322BC/322BMP ist zum Tragen in jedem der beiden Ohren konstruiert.

Zum Tragen des Mikrofons (Abb. B-a/b)

Haken Sie den oberen Teil des Ohrclips auf ein Ohr, und drücken dann den Clip sanft am Ohr entlang zum Befestigen ein (1). Um richtige Soundqualität zu erhalten, drehen Sie den Galgen so, dass die Gewinde am Kapselgehäuse zum Mundstück weisen, und ziehen dann das Kapselgehäuse an der Erweiterungsleitung vom Mundstück (2) ab.

Zum Anbringen des Kopfbands (Abb. B-c)

Zum sichereren Tragen des Mikrofons bringen Sie das mitgelieferte Kopfband (3) vor dem Tragen des Mikrofons an. Das Kopfband kann an jeder Seite angebracht werden.

Zum Anbringen des Clips (Abb. B-c)

Um Herunterfallen des Mikrofons zu vermeiden, bringen Sie den mitgelieferten Clip (2) am Mikrofonkabel an, und klemmen das Mikrofonkabel dann an der Kleidung fest.

Anschließen an das Sendeteil (Abb. C)

ECM-322BC

Richten Sie den inneren Schlitz des Mikrofonsteckers mit der gelben Linie des Mikrofon-Eingangsanschlusses (SMC9-4S) am Sendeteil (1) aus, und drücken und drehen den Ring (2) dann.

ECM-322BMP

Setzen Sie den Stecker (1) ein, und drehen und verriegeln die Anschlussabdeckung (2).

Hinweise zur Verwendung

- Mikrofone sind empfindlich. Nicht fallenlassen und vor Stößen schützen.
- Vermeiden Sie längere Verwendung oder Lagerung das Mikrofons bei hoher Luftfeuchtigkeit oder Temperaturen über 60°C.
- Wenn bei der Verwendung akustische Rückkopplung auftritt (es kommen Heulgeräusche von den Lautsprechern), richten Sie das Mikrofon von den Lautsprechern weg oder halten Sie es weiter von den Lautsprechern entfernt.
- Biegen Sie den Galgen nicht beim Einstellen der Kapselgehäuseposition.
- Nach der Verwendung trennen Sie immer das Mikrofonkabel vom Sendeteil ab.

Technische Daten

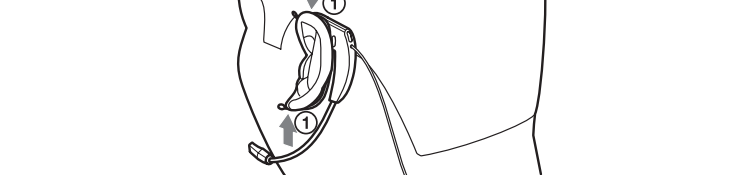
Allgemeines	
Typ	Electret-Kondensermikrofon
Spannungsversorgung	2 V Gleichstrom bis 10 V Gleichstrom (geliefert vom externen Gerät, wie einem Sony drahtlosen Sendeteil)
Stromaufnahme	1,3 mA oder weniger (mit dem Standardlastkreis)
Kabel	2,0 mm Durchm., 2-adriges abgeschirmtes Kabel, 1,2 m lang
Anschluss	ECM-322BC: Sony SMC9-4P <p>ECM-322BMP: 3-poliger Mini-Cinchstecker mit einem Sperrmechanismus</p>
Gewicht	10 g (ohne Anschluss)
Abmessungen	Siehe Abb. A . Einheit: mm
Mitgeliefertes Zubehör	Kopfband (1), Clip (1), Tragetasche (1), Bedienungsanleitung (1), Garantiebroschüre (1)

Leistung
Die folgenden Gegenstände wurden durch Anschließen der Mikrofone an die Standardlastkreise geprüft.

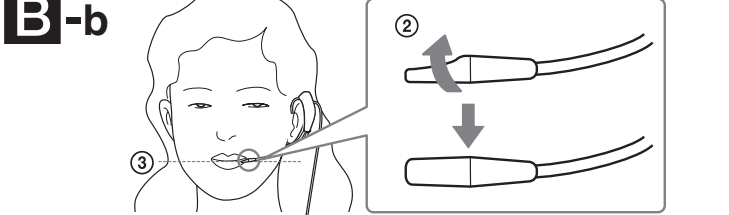
Frequenzbereich	50 Hz bis 18 000 Hz
Richtcharakteristik	Kugelcharakteristik
Ausgangsimpedanz	1,4 kΩ ±30%, unsymmetrisch
Empfindlichkeit	−42,0 dB SPL (7,94 mV) ±3,0 dB (1 kHz/Pa)
Grundrauschen	34 dB SPL oder weniger
Betriebstemperatur	0 °C bis +60 °C

Änderungen, die der technischen Weiterentwicklung dienen, bleiben vorbehalten.

B-a



B-b



Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. **SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS GLEICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.**

Italiano

Prima di usare il microfono, leggere con attenzione questo manuale. Conservare questo manuale per eventuali riferimenti futuri.

Per i clienti in Europa

Questo prodotto recante il marchio CE è conforme alla direttiva sulla compatibilità elettromagnetica (EMC) (89/336/CEE) emessa dalla Commissione della Comunità Europa. La conformità a questa direttiva implica la conformità alle seguenti normative europee:

- EN55103-1: Interferenza elettromagnetica (Emissione)
- EN55103-2: Sensibilità ai disturbi elettromagnetici (Immunità)
Questo prodotto è destinato all'uso nei seguenti ambienti elettromagnetici: E1 (residenziali), E2 (commerciali e industriali), E3 (esterni urbani) e E4 (ambienti EMC controllati, ad esempio studi televisivi).

Presentazione

L'ECM-322BC/322BMP è un microfono a condensatore a elettrete omnidirezionale del tipo ad archetto che consente un utilizzo a mani libere in occasione di eventi, seminari, ecc. insieme ad un trasmettitore del sistema di microfono senza fili UHF Sony.

ECM-322BC: Può essere utilizzato con un trasmettitore munito di presa SMC9-4S, come il WRT-822.

ECM-322BMP: Per l'utilizzo esclusivo con un trasmettitore Sony munito di minipresa a 3 poli, come l'UTX-B1 incluso nel pacchetto microfono senza fili della serie UWP.

- Le caratteristiche dell'ECM-322BC/322BMP sono le seguenti:
- Capsula omnidirezionale per ottenere il suono con chiarezza e qualità
- Supporto per orecchio per la facile applicazione sull'uno o sull'altro orecchio. Il design leggero e compatto e il materiale in silicone lo rendono particolarmente leggero e confortevole per l'orecchio, anche nel caso di un utilizzo per molte ore.
- Braccetto portamicrofono flessibile che consente di regolare precisamente la posizione e l'angolo del microfono.

Nomi e funzioni delle parti (Fig. A)

- | | |
|--|-----------------------------------|
| 1 Supporto per orecchio | 2 Involucro |
| 3 Cavo del microfono | 4 Archetto (in dotazione) |
| 5 Connettore (spina SMC9-4P per l'ECM-322BC/minispina fono con meccanismo di blocco per l'ECM-322BMP) | |
| 6 Fermaglio (in dotazione) | 7 Braccetto portamicrofono |
| 8 Involucro della capsula | |

Applicazione del microfono

L'ECM-322BC/322BMP è stato realizzato per poter essere indossato indifferentemente sull'uno o sull'altro orecchio.

Per applicare il microfono (Fig. B-a/b)

Agganciare la parte superiore del supporto per orecchio su un orecchio, quindi premere il supporto delicatamente lungo l'orecchio per fissarlo in posizione (1).

Per ottenere un'opportriata qualità del suono, torcere il braccetto portamicrofono in modo che le filettature sull'involucro della capsula siano rivolte verso la bocca, quindi tirare l'involucro della capsula in modo che venga a trovarsi in linea con la bocca (2).

Per applicare l'archetto (Fig. B-c)

Per indossare il microfono in maniera più salda, applicare l'archetto (1) fornito in dotazione prima di indossare il microfono.

L'archetto può essere applicato su uno qualsiasi dei due lati.

Per applicare il fermaglio (Fig. B-c)

Per evitare la caduta del microfono, applicare il fermaglio (2) fornito in dotazione al cavo del microfono, quindi fermare il cavo del microfono agli abiti.

Collegamento al trasmettitore (Fig. C)

ECM-322BC

Allineare la fessura interna del connettore del microfono con la linea gialla del connettore di ingresso microfono (SMC9-4S) del trasmettitore (1), quindi spingere e ruotare l'anello (2).

ECM-322BMP

Inserire la spina (1), quindi girare e bloccare il copriconnettore (2).

Note sull’uso

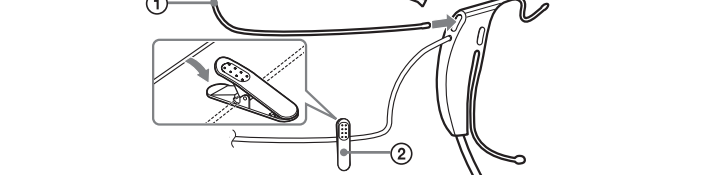
- I microfoni sono delicati. Non far cadere il microfono e non sottoporlo a forti urti.
- Evitare l'utilizzo o il deposito prolungato in luoghi con elevata umidità o con una temperatura superiore a 60°C.
- Se durante l'uso si verifica il fenomeno della retroazione acustica (un sibilo è udibile dai diffusori), puntare il microfono verso un punto distante dai diffusori o allontanare il microfono dai diffusori.
- Non piegare il braccetto portamicrofono durante la regolazione della posizione dell'involucro della capsula.
- Dopo l'uso, accertarsi di scollegare il cavo del microfono dal trasmettitore.

Caratteristiche tecniche

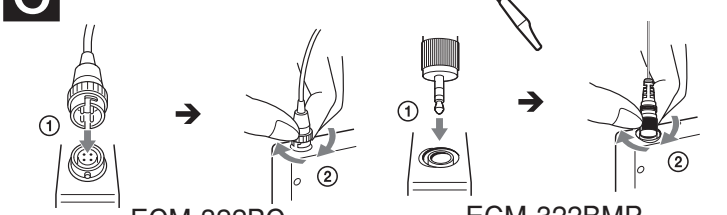
Dati generali	
Tipo	Microfono a condensatore a elettrete
Alimentazione	Corrente continua da 2 V a 10 V (fornita da un dispositivo esterno, come un trasmettitore senza fili Sony)
Assorbimento di corrente	1,3 mA o meno (con circuito di carico standard)
Cavo	Diametro di 2,0 mm, cavo schermato a 2 conduttori, lunghezza di 1,2 m
Connettore	ECM-322BC: SMC9-4P Sony <p>ECM-322BMP: Minispina fono a 3 poli con meccanismo di blocco</p>
Massa	10 g (senza connettore)
Dimensioni	Vedere la Fig. A . Unità: mm
Accessori in dotazione	Archetto (1), fermaglio (1), custodia di trasporto (1), Istruzioni per l'uso (1), libretto di garanzia (1)

Prestazioni
Le seguenti voci sono state testate collegando i microfoni a circuiti di carico standard.

B-c



C



Gamma delle frequenze	Da 50 Hz a 18.000 Hz
Direttività	Omnidirezionale
Impedenza di uscita	1,4 kΩ ±30%, sbilanciata
Sensibilità	−42,0 dB SPL (7,94 mV) ±3,0 dB (1 kHz/Pa)
Rumore inerente	34 dB SPL o meno
Temperatura di impiego	Da 0°C a +60°C

Design e caratteristiche tecniche soggetti a modifiche senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO. SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Español

Antes de utilizar el micrófono, lea completamente este manual. Este manual debe guardarse para su referencia en el futuro.

Para los clientes de Europa

Este producto con la marca CE está de acuerdo con la Directriz de EMC (89/336/EEC) emitida por la Comisión de la Comunidad Europea.

La conformidad con esta directriz implica la conformidad las normas europeas siguientes:

- EN55103-1: Interferencia electromagnética (Emisión)
- EN55103-2: Susceptibilidad electromagnética (Inmunidad)
Este producto está ha sido diseñado para utilizarse en los entornos electromagnéticos siguientes: E1 (zona residencial), E2 (zona comercial e industrial ligera), E3 (exteriores urbanos) y E4 (entorno con EMC controlada, p. ej., estudio de televisión).

Vista general

El ECM-322BC/322BMP es un micrófono de condensador con electroe omnidireccional de tipo casco para uso con las manos libres en eventos, seminarios, etc. en combinación con el sistema de micrófono inalámbrico UHF de Sony.

ECM-322BC: Puede utilizarlo con un transmisor y una toma SMC9-4S, como el WRT-822.

ECM-322BMP: Para uso exclusivo con un transmisor con minitoma de 3 polos de Sony, como el UTX-B1 incluido en el paquete de micrófono inalámbrico de la serie UWP.

- Las características del ECM-322BC/322BMP son las siguientes:
 - Cápsula omnidireccional produce sonidos claros y de calidad.
 - Gancho de oreja para ambas orejas. Diseño ligero y compacto con materiales de silicona, es especialmente ligero y cómodo en el uso durante muchas horas seguidas.
 - Brazo flexible permite un ajuste fino de la posición y ángulo del micrófono.

Nombres y funciones de las piezas (Fig. A)

- | | |
|--|----------------------------|
| 1 Gancho de oreja | 2 Cubierta |
| 3 Cable de micrófono | 4 Casco (entregado) |
| 5 Conector (toma SMC9-4P para el ECM-322BC/minitoma fonocaptora con un mecanismo de bloqueo para el ECM-322BMP) | |
| 6 Gancho (entregado) | 7 Brazo |
| 8 Caja de cápsula | |

Uso del micrófono

El ECM-322BC/322BMP fue diseñado para ambas orejas.

Para usar el micrófono (Fig. B-a/b)

Enganche la parte superior del gancho de oreja en una de sus orejas y presione el gancho de oreja para que quede fijado en su posición (1).

Para la mejor calidad del sonido doble el brazo para que los hilos en la caja de la cápsula estén hacia la boca y alargue la caja de la cápsula en la línea que se extiende de la boca (2).

Para colocar el casco (Fig. B-c)

Para usar firmemente el micrófono, instale el caso entregado (1) antes de usar el micrófono.

El casco puede instalarse en ambos lados.

Para instalar el gancho (Fig. B-c)

Para evitar que el micrófono se caiga, instale el gancho entregado (2) en el cable de micrófono y enganche el cable de micrófono en su ropa.

Conexión al transmisorr (Fig. C)

ECM-322BC

Alinee la ranura interior del conector de micrófono con la línea amarilla del conector de tres entradas (SMC9-4S) del transmisor (1), y presione y gire el anillo (2).

ECM-322BMP

Inserte el enchufe (1) y gire para fijar la cubierta del conector (2).

Notas acerca del uso

- Los micrófonos son frágiles. No deje caer o exponga a un golpe fuerte.
- Evite un uso durante largo tiempo y no guarde en lugares de alta humedad o temperatura de más de 60 °C.
- Si hay realimentación acústica durante el uso (se escucha un aullido por los altavoces), no apunte el micrófono a los altavoces o aumente la distancia entre el micrófono y los altavoces.
- No doble el brazo mientras ajusta la posición de la caja de cápsula.
- Después del uso, no se olvide de desconectar el cable de micrófono del transmisor.

Especificaciones

General	
Tipo	Micrófono de condensación con electroe
Requisito eléctrico	CC de 2 V a 10 V (alimentado de un equipo externo como un transmisor inalámbrico de Sony)
Pérdida de corriente	1,3 mA o menos (con circuito de carga estándar)
Cable	Cable blindado de 2 hilos, diám. 2.0 mm, long. de 1.2 m
Conector	ECM-322BC: Sony SMC9-4P <p>ECM-322BMP: Minitoma fonocaptora de 3 polos con mecanismo de bloqueo</p>
Peso	10 g (sin conector)
Dimensiones	Ve a la Fig. A . Unidad: mm
Accesorios entregados	Casco (1), gancho (1), valija de transporte (1), Manual de instrucciones (1), libro de garantía (1)

Prestaciones
Se hicieron ensayos de los siguientes ítems conectando los micrófonos a circuitos de carga estándar.

Gama de frecuencias	50 Hz a 18.000 Hz
Dirección	Omnidireccional
Impedancia de salida	1,4 kΩ ±30%, desequilibrado
Sensibilidad	−42,0 dB SPL (7,94 mV) ±3,0 dB (1 kHz/Pa)
Ruido inherente	34 dB SPL o menos
Temperatura de funcionamiento	0 °C a +60 °C

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Nota
Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

中文

使用麦克风之前，请仔细阅读本手册。请妥善保存此手册以备将来参考。

概述

ECM-322BC/322BMP是头戴式全向驻极体电容麦克风，适合在大型活动、会议等场所与Sony UHF无线麦克风系统的发射器搭配使用，进行免持操作。

ECM-322BC: 可以与带有SMC9-4S插座的发射器搭配使用，如WRT-822。

ECM-322BMP: 专门与带有3极式小型插孔的Sony发射器搭配使用，如UWP系列无线麦克风套件当中包含的UTX-B1。

- ECM-322BC/322BMP的特点如下：
 - 全向传声器头，可获得清晰优良的音质。
 - 便于在任一侧耳朵上佩戴的耳挂。设计轻便小巧，采用硅质材料，重量特别轻，即使长时间使用耳部也会感觉非常舒适。
 - 灵活的活动支架，可以对麦克风的位置和角度进行微调。

各部件的名称和功能（图A）

- | |
|--|
| 1 耳挂 |
| 3 麦克风电缆 |
| 5 连接器（ECM-322BC的SMC9-4P插头/ECM-322BMP的小型耳机插头，带锁定机构。） |
| 6 夹子（附带） |
| 8 传声器外壳 |

佩戴麦克风

根据设计，ECM-322BC/322BMP可佩戴于任一侧的耳朵上。

佩戴麦克风（图B-a/b）

将耳挂的上部挂在耳朵上，然后，沿耳部轻柔地按压耳挂，将其安放到位 (1)。

要获得良好的音质，应扭动活动支架，使传声器外壳上的线朝向口服，然后将传声器外壳拉到口部外延线上 (2)。

连接头带（图B-c）

要使麦克风佩戴的更加牢固，请在佩戴麦克风之前连接附带的头带 (3)。

可在任一侧连接头带。

安装夹子（图B-c）

为避免麦克风掉落，请在麦克风电缆上安装附带的夹子 (2)，然后将麦克风电缆夹在衣服上。

连接发射器（图C）

ECM-322BC

将麦克风连接器的内狭缝对准发射器 (1) 的麦克风输入连接器 (SMC9-4S) 的黄色线，然后推动并选转圆环 (2)。

ECM-322BMP

插入插头 (1)，然后转动并锁定连接器盖 (2)。

使用须知

- 麦克风属精密仪器。不要使其跌落或受到强烈撞击。
- 避免在高温或超过 60°C 的高温环境中长时间使用或保存。
- 使用过程中如果出现反馈（讲话人的声音变为啸叫声），请将麦克风远离讲话人或增加麦克风 and 讲话人之间的距离。
- 调整传声器外壳的位置时，不要弯曲活动支架。
- 使用后，请务必从发射器上断开麦克风电缆。

规格

通用	
型号	驻极体电容式麦克风
电源要求	2V DC到10V DC（由外接设备提供，如Sony无线发射器）
耗用电流	小于 1.3 mA（标准负载电路）
电缆	直径 2.0 mm，双导线屏蔽电缆，长度 1.2 m。
连接器	ECM-322BC：Sony SMC9-4P <p>ECM-322BMP：3 极式小型耳机插头，带锁定机构</p>
重量	10 g（不含连接器）
尺寸	见图 A 。单位：mm
附件	头带(1)、夹子(1)、便携包(1)、使用说明书(1)、质量保证书(1)
性能	
下列项目通过将麦克风连接至标准负载电路进行测试。	
频率范围	50 Hz到 18,000Hz
指向性	全向型
输出电阻	1.4 kΩ ± 30%，非平衡型
灵敏度	−42.0 dB SPL (7.94 mV) ± 3.0 dB (1 kHz/Pa)
固有杂音	低于 34 dB SPL
工作温度	0°C到+60°C